



## 朝の風情

### 国旗・校旗の掲揚

8時15分になると国旗と校旗の掲揚が行われ、これに合わせて校歌が流れます。今は2学期ですので2番が流れます。始業式等で校歌が歌われないため、私にとってこの時間は校歌を聞ける貴重な時間となっています。

さて、この1分30秒ほどの朝の放送を子供たちは起立して聞いています。年間にすると5時間程の時間となりますが、この時間に校歌を聞きつつ子供たちはどんなことを考えているのでしょうか。一日の目標を立てる子、一日のスケジュールを思い描く子、給食の献立は何だったかと思う子、それぞれだとは思いますが、何も考えていない子が一番多いかもしれません。そのため、無駄な時間と捉える考えもあるようです。有意義か無駄かの議論はさておき、全校の子供たちが起立し無言で掲揚台のほうを向いている情景はさすがしく、授業とは違った自分と向き合う時間になっているようです。

### 静 寂

B日課である水曜日以外の日の朝は、国旗・校旗の掲揚の後に読書活動を取り入れています。私はこの時間、日課としている教室回りを終えて、子供たちの読書をする姿をゆっくりと見ながら来た順に戻っています。子供たちが本と対峙している真剣な表情を見られるので、けっこう好きな時間帯です。子供たちが手にしている本は、童話や児童文学あり、歴史ものあり、宇宙などの科学ものありと様々です。中には怖い本を好んでいる子もいるようです。年齢に応じた好みの傾向もありますが、学級や友人の中での流行といった傾向もみられます。



さて、この朝読書の時間はとても静かです。子供たちのいない放課後は、味気ない無機質な静寂ですが、朝読書は、凜とした生命感のある静寂を感じます。

## バトン

本年度の半分を終え、後半戦へ突入しました。児童会の委員会活動には5年生が加わり、引継ぎの期間となっています。様子を見てみると、仕事の内容ややり方を真剣にきちんと伝える6年生の姿には、これまでの活動への自負や責任（「誇り」といいと思います。）が感じられます。5年生からは緊張感と熱意が伝わってきます。自分が必要とされる役割があることに手ごたえを感じているようです。南小の児童会のバトンはきれいにつながっていきそうです。